

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公表番号】特表2002-501377(P2002-501377A)

【公表日】平成14年1月15日(2002.1.15)

【出願番号】特願平10-544147

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/02

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 39/00

A 6 1 P 37/06

【F I】

C 1 2 N 15/00 B

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 37/06

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月13日(2005.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

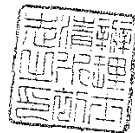
手続補正書

平成17年4月13日

特許庁長官殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第544147号
2. 補正をする者
- 住 所 アメリカ合衆国 マサチューセッツ州 ボストン
ビニー ストリート 44
- 名 称 ダナーファーマー キャンサー
インスティテュート インク.
3. 代理人
- 住 所 〒300-0847 茨城県土浦市卸町1-1-1
関鉄つくばビル6階
- 電話 (029) 841-2001
- 氏 名 *A297* (~~10297~~) 弁理士 清水 初志
4. 補正対象書類名 明細書
5. 補正対象項目名 請求の範囲
6. 補正の内容 別紙の通り



請求の範囲

1. 免疫系を刺激する組成物であって、該組成物が複数の細胞を含み、少なくともその半数が融合細胞であり、該融合細胞がそれぞれ少なくとも1つの哺乳類樹状細胞と、細胞表面抗原を発現する少なくとも1つの哺乳類腫瘍細胞または癌細胞との融合によって生成され、該樹状細胞および腫瘍細胞または癌細胞が同一の哺乳類種に由来し、該樹状細胞が抗原をプロセッシングおよび提示することができ、融合細胞のうち少なくとも半数は免疫系を刺激するのに有効な量の(a)MHCクラスII分子、(b)B7、および(c)細胞表面抗原を発現する組成物。
2. 前記哺乳類樹状細胞および哺乳類腫瘍細胞または癌細胞が同一の個体から得られる、請求項1記載の組成物。
3. 前記哺乳類種がヒトである、請求項2記載の組成物。
4. 前記哺乳類樹状細胞および哺乳類腫瘍細胞または癌細胞が同一種の異なる個体から得られる、請求項1記載の組成物。
5. 前記の種がホモサピエンス (Homo sapiens) である、請求項4記載の組成物。
6. 個体において免疫応答を刺激する方法であって、該個体が癌および癌を発症する疾病素質からなる群より選択される状態を有し、該個体に請求項1記載の組成物を投与し、免疫応答を誘導する工程を含む方法。
7. ヒトにおいて免疫応答を刺激する方法であって、該ヒトが癌および癌を発症する疾病素質からなる群より選択される状態を有し、該ヒトに請求項3記載の組成物を投与し、免疫応答を誘導する工程を含む方法。
8. 前記哺乳類樹状細胞がヒトまたはヒトの一卵性双生児 (identical twin) から得られる、請求項7記載の方法。
9. 前記腫瘍細胞または癌細胞がヒトから得られる、請求項8記載の方法。
10. 前記癌抗原がMUC1である、請求項8記載の方法。
11. ヒトが以下の状態または以下の状態の一つを生じる疾病素質を有する、請求項10記載の方法：乳癌、子宮癌、膵臓癌、前立腺癌、肺癌、および骨髄腫。

12. 免疫系を刺激する組成物であって、該組成物が複数の融合細胞を含み、該融合細胞がそれぞれ少なくとも1つの哺乳類樹状細胞と、細胞表面抗原を発現する少なくとも1つの哺乳類腫瘍細胞または癌細胞との融合によって生成され、該樹状細胞および腫瘍細胞または癌細胞が同一の哺乳類種に由来し、該樹状細胞が抗原をプロセッシングおよび提示することができ、複数の融合細胞が免疫系を刺激するのに有効な量の(a)MHCクラスII分子、(b)B7、および(c)細胞表面抗原を発現する組成物。

13. 前記哺乳類樹状細胞および哺乳類腫瘍細胞または癌細胞が同一の個体から得られる、請求項12記載の組成物。

14. 前記個体がヒトである、請求項13記載の組成物。

15. 前記哺乳類樹状細胞および哺乳類腫瘍細胞または癌細胞が同一種の異なる個体から得られる、請求項12記載の組成物。

16. 前記の種がホモサピエンスである、請求項15記載の組成物。

17. ヒトが、腫瘍細胞または癌細胞によって発現される細胞表面抗原と共通の少なくとも1つの抗原を有する、請求項7記載の方法。

18. 樹状細胞前駆体に由来するヒト樹状細胞およびヒト腫瘍細胞または癌細胞を含むハイブリッドであって、該腫瘍細胞または癌細胞に由来の少なくとも1つの細胞表面抗原、少なくとも1つのMHCクラスII分子、およびB7を発現するハイブリッド。

19. 免疫エフェクター細胞と融合細胞を培養する工程によって製造される活性化腫瘍抗原特異的T細胞の集団であって、該融合細胞が少なくとも1つの哺乳類樹状細胞と、細胞表面抗原を発現する少なくとも1つの哺乳類腫瘍細胞または癌細胞との融合によって生成され、該樹状細胞および腫瘍細胞または癌細胞が同一の哺乳類種に由来し、該樹状細胞が抗原をプロセッシングおよび提示することができ、融合細胞のうち少なくとも半数は免疫系を刺激するのに有効な量の(a)MHCクラスII分子、(b)B7、および(c)細胞表面抗原を発現する集団。

20. 前記活性化腫瘍抗原特異的T細胞が細胞傷害性Tリンパ球である、請求項19記載の集団。